くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085大田区久が原2-19-3
TEL（3752）4271
FAX（3752）4514
題　字：三木兼吉

見直そう、生活習慣

久が原地区管内	人口	男	12,391人
		女	12,699人
		計	25,090人
	世帯		11,136世帯

平成14年12月1日現在

年頭のごあいさつ
久が原地区自治会連合会長　松田　清

明けましておめでとうございます。

地域情報紙『くがはら』も創刊以来内容も充実、愛読者も増加し今回で五十一号を迎えました。これも偏に貴重な情報、意見等をお寄せ下さった地域の皆様をはじめ、編集委員各位の努力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も、生活に密着した情報、或いは地域の歴史、文化等の情報提供に、より地域住民相互の交流、連帯感を育む一助になってくれればと願っております。

これからも久が原地区発展の為、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます。

年頭に当り、皆様のご繁栄とご多幸を心より祈念致し、新年のごあいさつと致します。

久が原東自治会長　天野　重夫
久が原西自治会長　松田　清
久が原南自治会長　佐々木琢磨
道々橋自治会長　三部　金光
ヒルズ久が原自治会長　山本竜三郎

新自治会長ごあいさつ
ヒルズ久が原自治会長　山本竜三郎

この度ヒルズ久が原自治会長を拝命しました山本竜三郎でございます。前会長片山同様宜しくお願い致します。

私は久が原生まれの久が原育ちではありますが、自治会の活動となりますと何とも様子が判らず、地区自治会長の皆様にはいつも助けて頂いてばかりでございます。

そうは申しましても、自治会の活動は地域間、世帯間の繋がりを育むことと肝に銘じひとつでも多くのお手伝いが出来ればと思っております。

最後になりましたが、久が原地区自治会の益々のご繁栄と、地域の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

成人の日に寄せて
「二十歳になりまして」　小島由理香

ついにやって来ます。約二週間後、私は成人式に出席します。自分が二十歳。本当に信じられません。いつの間にこんなにも時間が経っていたなんて。

最近、幼なじみの友達と小学生時代の話をしました。小学六年生のときにお世話していたあの子どう成長しているかなぁ、あのかわいい子はとてもかっこよくなっていたよぉ、とか。小さい子に触れるたびに「私もあんなに小さくてかわいい子だったんだなぁ」と、自分が二十年間もの歳月を重ね、いつの間にか徐々に大きく成長していたということに気がつきます。

毎日のように「私は幸せ者だなぁ」と実感することができます。笑顔で過ごせるのは周囲の人のお蔭。今の、このたくましい私をつくりだしてくれた、私に関わったすべての方に感謝したい。まだまだ未熟者だからこそこれから自分がどう成長し、生きていくのかとても楽しみで仕方ないと、未来を想像する今日この頃なのです。

成人の日に寄せて
「成人になること」　江川健太郎

二十歳の誕生日を迎えるということは一人の大人として認められ、その様に扱われること。合法的に飲酒、喫煙ができ、選挙権が与えられる。しかし、それ以上に大きいことは選択の自由を委ねられ、それに対する責任を負わねばならないことである。

これは特に二十歳だからというわけでもないのだが、大学に行って強く感じたことである。大学では、自分で行動を起こさないと何も起こらない。大学側はほとんど何もしてくれない。アルバイトにしても勉強にしても、完全に自己責任だ。

私は、中学二年の時からジュニアリーダーとしてたくさんの活動に参加して、責任ある行動をとること等を学んできたつもりだった。しかし、まだまだだということを強く思い知らされた。

これから大学を出るまでには、社会人として生きていくための基礎ぐらいはきちんと作っておきたいと思っている。それは自分のペースでやりたい。

これ、なんだろう？
「電柱の番号札」

♪上を向いて歩こう。

道を歩いて電柱に注目したことがありますか。

あらためて見上げると電線の多いのに驚かされます。電柱には、生活に欠かせない電気、電話線をはじめ、TV、音楽放送、街路灯などの設備が設置されています。

また、電柱には写真のように、いくつもの番号札が取り付けてあります。

「これ、なんだろう？」

調べてみました。

街路灯は、大田区の管理で各出張所毎に番号が付けられており、下の番号がNTTと東電の番号札です。

NTTは営業所を基点とし、東電は地域単位（例・久が原）に付けられています。

電柱の呼称は、その地を表す学校、建物、名所、町名などが付けられ、各企業での柱の名前ということです。

事故、火災、落雷、ランプ切れなど不測の事態が生じた時、直ちに、対応出来るよう管理されているものです。

（醍醐精一）

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

防犯・防災シリーズ③
「火の用心」

「火の用心」　この標語は、今でも子どもから大人まで通用する言葉のベストセラーではないでしょうか。

記録によれば、東京の消防は、明治元年七月十七日東京府の設置により常務局に消防掛が設置されました。

この頃から石油ランプの国産化が始まり、今までの菜種油を使用した行燈に比べてはるかに明るいことから、大変普及しました。必然的に火災原因に占めるランプの割合も増加し、明治五年神田旅籠町で発生したランプによる火災は、住居、納屋など九十余戸を焼失したと言われています。

さて、時代は変わって現代ではどうでしょうか。

昭和三十年代に入ってから経済成長の急速な進展に伴って、一般家庭生活の中に電気・ガス製品等の便利な生活用品が取り入れられ、今日に至っていますが、平成十三年中の田園調布消防署管内の火災原因でも電気・ガス製品等が上位二、三位にランクされています。

出火原因の第一位は、放火又は放火の疑いです。放火犯が火をつける紙や油を持ち歩く例は少なく、大部分が近くにあったものを利用しています。このことから、家の周りに燃えやすいものを置かないで欲しいのです。

そこで防災・防火の合言葉として、左記の一、二をあげたいと思います。

一　住まいと地域の防火・防災対策を進めましょう。

二　我が家でも安全な避難のために、廊下や階段にものを置かないようにしましょう。

今年も皆様の安全と安心のために

田園調布消防署

久原小学校
「新しい校舎で」第一期工事が完了

昨年十一月五日新校舎に移り、新たな学校生活が始まりました。子ども達にとって学び方が広がり、地域の方にも使ってもらえる、夢が広がる施設を作って頂きました。

引越後間もない十一月二十二日に学校一日公開をして、保護者や地域の皆さんに見て頂きました。当日は大勢来校され、まだ新しい環境になれていない子ども達に温かい励ましを頂きました。

今行われている旧校舎の取り壊しに続いて、来年度には二期工事があります。まだご不便をおかけすると思いますがよろしくお願い致します。

（久原小学校長　植木義治）

わがまちの商店街紹介
東久が原商栄会 おかあちゃんパワー炸裂

私たち「東久が原商栄会婦人部」が誕生して三年が過ぎました。まだまだ歴史は浅く、活動内容も試行錯誤状態の中一歩一歩、歩んでおります。

婦人部は、会員相互の親睦及び商店街の発展に寄与する事を目的に発足し、現在三十九名の会員を数えております。三十代から?十代まで平均年令??才ですが、皆の心は〝おとめ〟、若さ一杯で笑い声の絶えないおかみさんたちの集まりです。

婦人部の活動のメインは、盆踊り大会です。毎年七月中旬に二日間、ダイシン百貨店さんの駐車場をお借りして開催される、商店街主催の盆踊り大会の模擬店を担当しております。

自分の店とは勝手が違うものの、そこはもともと商店のおかみさんたちです。二日間婦人部総出にて、さわやかな汗を流して頑張っております。

日頃お世話になっている地域の皆様に少しでも楽しんでいただければと企画しておりますが、昨年はいかがだったでしょうか。今年も昨年以上により一歩進んだ盆踊り大会にして行きたいと思っております。

また、秋にはフリーマーケットを行っておりましたが、昨年は都合によりできませんでした。これに代わるイベントを、今年の春頃に予定しております。地域の皆様に参加して頂き喜んで頂ける何かがあるのではないか、いや何かをやってみようと検討中です。

また、月一回、第一日曜日朝八時よりバス通りを中心に一斉清掃を行い、きれいな街作りにも精を出しています。

地域に密着し、親しまれる商店街を目指して行きたいと思っております。今後共よろしくお願いいたします。

（志田美奈子）

委員会からのお知らせ

前号で『久が原マップ作り』のメンバーを募集したところ、多くの反響がありました。

現在、総勢約三十名でマップ作りに取り組んでいます。実際に町を練り歩き、現在の久が原という町を再発見しています。

マップの発表は、この四月を予定しています。皆様、大いにご期待ください。

編集後記

新春のおよろこび申しあげます。編集委員は野口金治さん（東）が退任し、山野不二子さん（西）が就任しました。地域の皆様に待ちこがれる紙面づくりを目ざして励みます。よろしくお願いいたします。

（おばら）

久が原の人シリーズ③
小原　巌さん
動物博士で、学術用剥製に関する日本の権威。

皆さんは剥製（はくせい）のことをどの程度ご存知でしょうか。小原巌さんは、国立科学博物館勤務当時より、学術用剥製に関する日本の権威です。このたび剥製を通していろいろな事柄を教えていただきました。

小原さんは、収集のため国内はもとより海外にも多く出かけ、真冬の雪原で一匹のリスや野ねずみなどを捕獲するために一週間のテント生活もしたそうです。そして、剥製を通じてわかったことは、西欧とアジア、特に日本との文化の違いだそうです。

西欧では、自然をコントロールし、動物と共生できるように剥製にして教育しています（日本と対立している鯨は別ですが）。このためか、西欧の博物館などに展示されている剥製は、動物たちに親しみを持てるように、明るい場所に置いて、手で触って感触をみることができます。

一方、日本では暗くて怖そうなところに展示されています。怖いものが暗いために余計に親しみが湧きません。これを痛感した小原さんは、まず明るい場所に展示するようにしたとのこと。

また、講師として学校などで小学生に生態を説明するときは、温湿度管理が難しい剥製を桐の箱に入れて保管し、この中から取り出しては触らせて、親しみを持たせているそうです。

野生の動物は歯の構造が鋏状になっており、虫歯がないこと、都会の獣医師は虫歯は診ないせいか虫歯で泣いているペットが多いこと、環境が変化しているせいかヒヨドリやコゲラなどの山の鳥が都会で見られること、雁行は鵜行であること、最近のカラスのことなどの興味深い話は尽きませんでした。

小原さんは「ノーベル賞の田中耕一さんではありませんが、心に余裕を持って、何事も興味を持って基礎をしっかりと勉強することが重要ではないか」と言われました。私も同感です。皆さん、久が原からノーベル賞をもらえる人が出るようにがんばりましょう。

（小倉敦司）

剥製（はくせい）　動物標本の一。主に哺乳類、鳥類の皮をはぎ、綿などの芯を入れ、生きていたときの外形に似せたもの。（大辞林）

イベント情報

■久が原西自治会新年会
【開催日】1月12日（日）
【会　場】久が原会館

■もちつき大会
【久原小】1月19日（日）
【松仙小】1月26日（日）

■子どもレク大会
【開催日】3月8日（土）
・小学生を対象に大森十中で。

■ 久が原南自治会
プロムナードコンサート
【開催日】3月下旬
【会　場】久が原クラブ
【問合先】（３７５３）５１３８
・自治会主催の音楽会です。